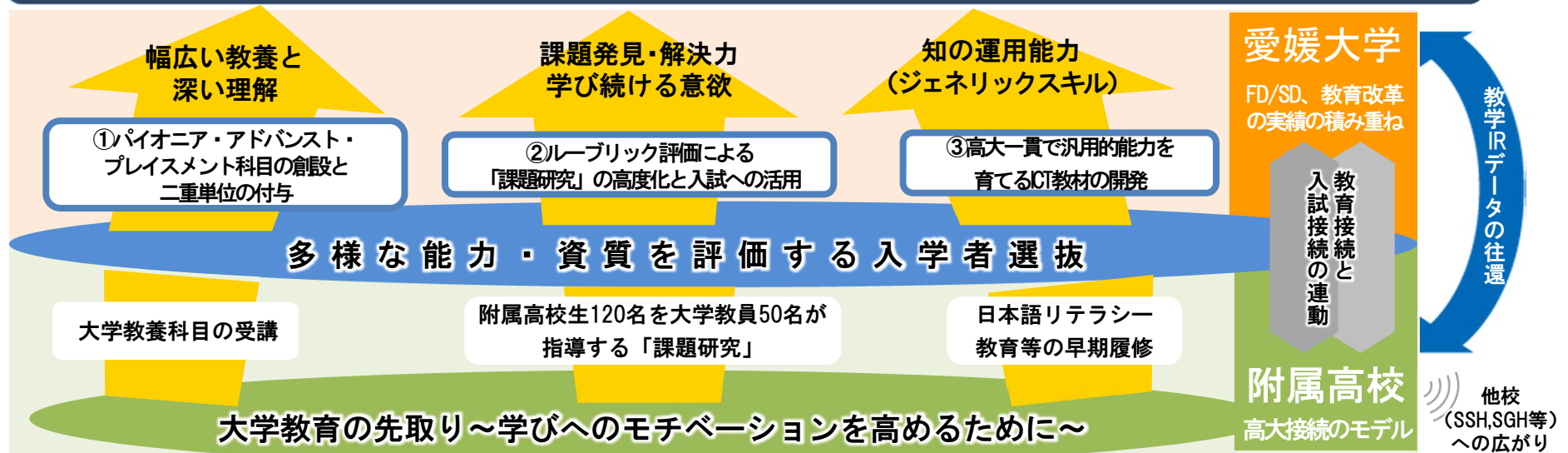


大学等名：愛媛大学

テーマ：テーマⅢ（高大接続）

本事業は、愛媛大学附属高校をモデルとして取り組んできた大学・高校教育の円滑な接続方法の研究・開発を発展させ、高校段階で“学びへの意欲”を高めることによって大学における“深い学び”を確保し、大学教育の到達点の高度化を目指す。そのため、①パイオニア・アドバンスト・プレイスメント(P-AP)プログラムの創設と二重(デュアル)単位の付与、②ルーブリック評価による「課題研究」の高度化と入試への活用、③高大で一貫して汎用的能力を育てるICT教材の開発を実施し、高大接続事業による問題発見・解決力育成の成果を深化発展させ、「幅広い教養と深い理解」「学び続ける意欲」「知の運用能力」を育成する。また、教学IRによって大学入学後も接続教育の効果測定を行い、高校及び大学教育の質的向上を図るとともに、本事業で得た知見や評価方法を、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する新入試制度の導入においても活用する。

大学教育の到達点の高度化 ～早期の”動機付け”から”深い学び”へ～



【事業の成果の指標】	26年度 (実績値)	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
高校関係者との意見交換の実施数[回数]	60回	66回	85回
高校生を対象とした大学レベルの教育機会の提供数[講座数]	65講座	88講座	80講座
高校生を対象とした大学レベルの教育機会を経た学生の単位認定数[単位認定人数]	0人	171人	150人

- 高大の接点を質的・量的に拡充することで、高校教育・大学教育・入試の一体的改革を実現
 - ・ 意欲・能力に優れた高校生が上級科目を履修することにより、大学入学時の学力を引き上げる。
 - ・ 大学では多様な履修歴をもつ学生に配慮した授業科目を提供し、卒業時の到達点を引き上げる。
 - ・ 入試は主体性や応用力を含む総合的評価へ移行